

## 9 公共土木施設の老朽化対策について

昨年12月に起こった中央自動車道笹子トンネルの天井板落下事故の教訓も踏まえ、公共土木施設の老朽化対策の加速が我が国の主要なテーマとなっており、その対策に最優先で取り組んでいかなければならない。

しかし、地方においては、財政的制約、技術者不足等の課題から、十分な対応をとることが困難な状況となっている。

公共土木施設の老朽化対策は、国、地方を挙げて取り組むべき課題であることから、今後、長寿命化等戦略的な維持管理や施設更新が円滑かつ着実に進められるよう、次の事項について特段の措置を講じられたい。

- 1 「防災・安全交付金」等について十分な財源を確保し、継続した支援を行うこと。
- 2 交付金の補助対象や採択要件については、地域の実情を十分踏まえ柔軟に対応し、地方にとってさらに使い勝手がよいものとする。
- 3 具体的な点検方法や損傷度判断基準など、現行の点検要領を更に詳細にしたマニュアルの作成、点検補修に関する新技術の開発及び専門技術者を養成するための資格制度の創設などにより、地方が老朽化対策を一層推進するための点検補修技術の向上を促進する措置を講じること。